

ボジョレー・ヌーヴォ

第4期 OG 小合 麻耶

ボジョレー・ヌーヴォの季節になると、小野ゼミで過ごした日々をよく思い出します。ボジョレー・ヌーヴォと小野ゼミでの日々は関連性がないように見えるかもしれませんが、4期、少なくとも我がチーム、消費者行動班のメンバーがボジョレー・ヌーヴォから「想起」する一番の出来事は小野ゼミでの三田論執筆でしょう。

テーマ決めが他班に比べスムーズだった私たちの班は三田祭が近づくにつれ、論文は形になっていくと信じていました。しかし執筆は思いの外難航し、三田祭一週間前、目前にも拘わらず先生のお家にお邪魔し、先生には大変ご迷惑をおかけしてしまったのですが、つきっきりでご指導いただいていた。

終わらないかもしれない、いや妥協なく終わらせなければならぬと焦り、班の雰囲気も重くなっていました。そのような日が続き、一番難航し、とうとう先生のお家で日をまたいでしまったことがありました。それがボジョレー・ヌーヴォ解禁日だったのです。その日は夜遅いながら先生と奥様が論文執筆で目が血走っていた4期にボジョレーとご飯をふるまってくださいました。あまりに余裕のない日々だったので班全体に穏やかな空気が流れ、雰囲気が良くなったように感じました。あの日があったからこそ完成まで踏ん張れたような気がします。

小野ゼミで過ごした2年間はどこをとっても濃密です。三田論は結局三田祭3日目まで終わらず、まるで住んでいるかのようにキンコーズに夜中じゅう入り浸っていたこともありました。そのほかにもグル学を占領したことや法学院塔にグループワークで長居しすぎて怒られたこと、先生が渡米された日、篠田さんがお見送りに遅れてしまい、泣きながらターミナルへ来たこと、遠隔ながら先生からの卒論のご指導を受けるため音声チャットでなぜか私は緊張していたこと、アメリカの先生のお家へ4期の一部と森岡さん、田中さんと訪ね、先生は私たちの観光案内までしてくださったこと、卒論執筆にあたっては私の未熟な文章にたくさんの吹き出しがついていたこと、どれも今でも忘れられない良い思い出です。

私も社会人2年目の半ばを迎えました。まだまだ社会人としては未熟なところもありますが、小野ゼミで培った忍耐力やマルチタスクへの適応力などは社会でも活かしているなど感じる場所が多々あります。もちろん、社会に出てから学ぶことも多々ありますが…。現在は、社内向けのコンサルティング担当として日々仕事をしています。吸収合併が多い会社であるため、社内だけでも動きが激しく、飽きる暇もなく仕事をこなしています。目立つ仕事というよりも縁の下の力持ちという仕事であるため、つくづくゼミ時代における本務という仕事も向いていたのかもしれないと思うこともあります。会社では日々なにかしらのイベントが起こってバタバタしていますが、そのなかでもやりたいと手を挙げたことに対して、人を巻き込みながら実現に向けられる環境があるので楽しく仕事をしています。まったく感覚の違う人を巻き込む、そして一丸となって何かをやり遂げるという点ではゼミ活動と似ているところがあるのかもしれませんが。さすがにゼミのときのように夜通しはもう二度とないと思いますが。



先生出国前の緊急 OB・OG 総会

またボジョレー・ヌーヴォの時期がやってくるなと思い、小野ゼミのことを思い出していた矢先、この度の OB 会のお誘いがありました。現役の方はこれから三田論の山場なのですね。二度とできない経験や思い出ができるはずです。現在はまだ OB・OG としては最年少なので現役の方の苦労話を聞く日を楽しみにしています。